

635. 一階常微分方程式ノ特異点ニ就イテ, VII

福原 満洲雄 (九大)

1. 今度ハ

$$(1) \quad x \frac{dy}{dx} = y f(x, y)$$

ニ於テ

$$(2) \quad f(x, y) = \sum_{j, k} a_{jk} x^j y^k$$

$$(a_{00} = \dots = a_{0, n-1} = 0, \quad a_{0n} \neq 0)$$

ナル形ニ展開サレル場合ヲ考ヘル。

形式的解 先ツ (1) ノ形式的ノ解ヲ求メル爲メ

$$(3) \quad y = \sum_{j, k} p_{jk} x^j z^k \quad (p_{00} = 1)$$

ナル置換ヲ行フ。z = 関スル方程式ハ

$$x \frac{dz}{dx} = \sum_{j, k} C_{jk} x^j z^k$$

ナル形ヲ持ツ。C<sub>0n</sub>, C<sub>0, 2n</sub>ヲ除キ其ノ他ノC<sub>jk</sub>ヲ0トス

ルニシテ (3) ノ展開式ノ係数p<sub>jk</sub>ヲキメルコトが出来ル。

勿論級数ノ収斂性ハ考慮ニ入レテナイ、ソノニシテp<sub>jk</sub>ヲ

キメタモノトスレバ変換サレタ方程式ハ

$$(4) \quad x \frac{dz}{dx} = C z^{n+1} + C' z^{2n+1}$$

ナル形ヲ持ツ。各ヲ (4) ノ一般解トスレバ (3) が (1) ノ形式  
的ノ解トナル。

2. 次ニ方程式 (4) ノ始末ヲアル。  $x^{-n} = u$  ト置ケバ

(4) ハ

$$x u' = -n c - n c' u^{-1}$$

トナル。更ニ  $v = A u$ ,  $\xi = x^p$  ト置ケバ

$$\xi \frac{dv}{d\xi} = -\frac{nA}{p} \left( c + c' \frac{A}{v} \right)$$

トナル。

$$(5) \quad A = \frac{c}{c'}, \quad p = -\frac{nc^2}{c'}$$

ト取レバ

$$\xi \frac{dv}{d\xi} = 1 + v^{-1}$$

トナル。最後ニ  $t = \log \xi$  ト置ケコトニヨリ

$$(6) \quad \frac{dv}{dt} = 1 + v^{-1}$$

ヲ得ル。  $t=0$  テ  $v=0$  トナル (6) ノ解 ( $t=0$  ハ分  
岐点ヲアル) ヲ  $v = \alpha(t)$  ト書ケコトニスル。 (6) ノ一  
般解ハ  $v = \alpha(t+C)$  ト書ケコトガ出来ル。依ツテ (4)  
ノ解ハ

$$(7) \quad x = \left( \frac{1}{A} \alpha(p \log x + C) \right)^{-\frac{1}{n}}$$

トナル。  $A, p$  ハ (5) = 依ツテ與ヘラレル。  $C$  ハ勝手ニ常數

デアル、以上ハ  $C' \neq 0$  ノ場合デアル。  $C' = 0$  ノ場合 = ハ (4) ノ一般解ハ

$$(17) \quad z = (-nc \log x + C)^{-\frac{1}{n}}$$

デアル。

3. (4) ノ一般解ガ (17) 又ハ (17) = 依ツテ興ヘラレルカラ之レヲ (3) = 入レルト (1) ノ形式的ノ解ガ得ラレルノデアル。結論ヲ大雑把ニ言ヘバ此ノヤウニシテ得ラレタ級数(3)ガ (1) ノ一般解ヲ漸近的ニ表ハスノデアルガ、本論ニ入ルニ先ツテ  $v(0) = 0$  ヲ満足スル (6) ノ解  $v = \alpha(t)$  ノ性質ヲ調べテ置カトケレバナラナイ。

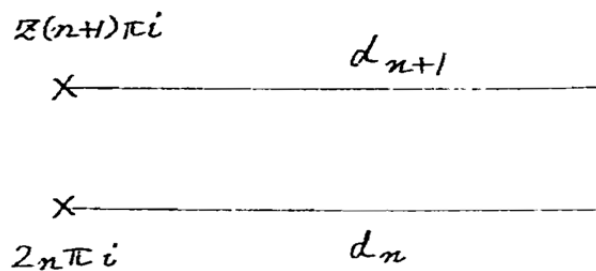
(6) ヲ積分シテ  $\alpha(0) = 0$  デアルコトニ注意スレバ

$$(8) \quad \alpha - \log(1 + \alpha) = t$$

ヲ得ル。(6) ハ  $v = -1, \infty$  ナル解ヲ持ツカラ  $\alpha(t)$  ハ  $-1, \infty$  ナル値ヲ取ラナイ。依ツテ  $\alpha(t)$  ノ特異点ハ  $\alpha = 0$  トナル点即チ  $t = 0, \pm 2\pi i, \pm 4\pi i, \dots$  デアル。(8) = 依ツテ  $\alpha$  平面 = 於テ實軸上ノ  $-1, +\infty$  ヲ結ブ半直線 = 沿ツテ切レ目ヲ

$\alpha$  平面

$t$  平面



入レター一枚ノ平面  $G$  が  $t$  平面 = 於テ  $2n\pi i, 2(n+1)\pi i$   
 ヲ一端トシ, 實軸ト平行 = 右 = 伸ビタニツノ半直線  $d_n,$   
 $d_{n+1}$  = 沿ツテ切レ目ヲ入レター一枚ノ平面  $F_n$  = 一對 = 對  
 應スル. コノ對應 = 於イテ  $z$  平面 = 於ケル  $(0, +\infty)$  ノ上  
 ノ縁 =  $t$  平面 = 於ケル  $d_{n+1}$  ノ上ノ縁が,  $z$  平面 = 於ケ  
 ル  $(-1, 0)$  ノ上ノ縁 =  $t$  平面 = 於ケル  $d_{n+1}$  ノ下ノ縁  
 が,  $z$  平面 = 於ケル  $(-1, 0)$  ノ下ノ縁 =  $t$  平面 = 於ケ  
 ル  $d_n$  ノ上ノ縁が,  $z$  平面 = 於ケル  $(0, +\infty)$  ノ下ノ縁  
 =  $d_n$  ノ下ノ縁が對應スル.  $t$  が  $d_n$  ト  $d_{n+1}$  ノ間カラ  $\infty$   
 = 近ヅケバ  $z \rightarrow -1$  トナリ,  $t$  が  $d_n$  ト  $d_{n+1}$  ノ間 = 入ラ  
 ス  $\times \omega = \infty$  = 近ヅケバ  $z \rightarrow \infty$  トナル. 又  $d_n$  ノ上ノ縁ノ  
 点ト, ソレ = 對應スル  $d_{n+1}$  ノ下ノ縁ノ点ト = 對應スル  $z$  ノ  
 値ハ等シイ. 依ツテ  $z(t)$  ノ Riemann 面ハ  $F_n, d_n$   
 ノ上ノ縁ヲ  $F_{n-1}$  ノ  $d_n$  ノ下ノ縁トツナギ,  $F_n$  ノ下ノ縁  
 ヲ  $F_{n-1}$  ノ  $d_n$  ノ上ノ縁トツナグコト = ヲツテ得ラレル.

4.  $\Omega$  ヲ與ヘテ  $t$  勝手ナ角トシ,  $R$  ヲ十分 = 大キク  
 取レバ, 以上述べタ所カラ次ノ事實ガ余ル.

$|t_0| \geq R$  デ  $t_0$  ハ  $d_0, d_1$  ノ間 = ナイ  $F_0$  ノ上ノ点ト  
 スル.  $t$  が  $t_0$  カラ出悉シテ  $|t| \geq R, |\arg t| \leq \Omega$  ナ  
 ル部分 = 属シナガラ  $\infty$  = 近ヅケバ  $z(t) \rightarrow \infty$  トナ  
 ル.

$\Re t_0 > 0, 0 < \Im t_0 < 2\pi$  ナル  $F_0$  ノ上ノ点  $t_0$  カラ  
 出悉シテ  $|\arg t| < \frac{\pi}{2}, \Re t \rightarrow +\infty$  トナル  $\times \omega = t$   
 が  $\infty$  = 近ヅケバ  $z(t) \rightarrow -1$  デアル.

5.  $o_2 = t(1+w)$  ト置ケバ (8) ハ

$$w = t^{-1} [\log t + \log(1+w+t^{-1})]$$

トナル。

コノ右辺ハ  $t^{-1}$ ,  $t^{-1} \log t$ ,  $w$  ノ冪級数 = 展開サレル。而シテ其等 = 関シテ 0 次ノ項ハ 0, 一次ノ項ハ  $t^{-1} \log t$  ガケテアル。依ツテ

$$w = t^{-1} \log t + \dots$$

ナル形 = 展開サレル。書イテナイ部分ハ  $t^{-1}$ ,  $t^{-1} \log t$  ノ冪級数デ, 其等 = 関シテ 0 次又ハ一次ノ項ヲ含マナイ。コレカラ

$$(9) \quad o_2(t) = t(1 + t^{-1} \log t + \dots)$$

ヲ得ル。此ノ展開式ハ  $t \rightarrow \infty$  ノトキ  $o_2(t) \rightarrow \infty$  トナル  $o_2(t)$  ノ値ヲ與ヘル。

$o_2 = -1 + w$  ト置ケバ (8) ハ

$$w = e^{1-t-w}$$

トナル。コレカラ

$$w = e^{1-t} (1 + \dots)$$

ナル展開式ヲ得ル。書カレテナイ部分ハ  $e^{-t}$  ノ冪級数デ 0 次ノ項ヲ含マナイ。依ツテ

$$(10) \quad o_2(t) = -1 + e^{1-t} + \dots$$

ナル展開式ヲ得ル。コレハ  $t \rightarrow \infty$  ノ時  $o_2(t) \rightarrow -1$  トナル  $o_2(t)$  ノ値ヲ與ヘル。

以上  $o_2(t) =$  就イテ述ベタ事柄ガスツテ必要ナノデハナイ。序デアアルカラ述ベタ迄アツテ今後必要ナノハ展開式

(9) 7714.